

区分	臨床・専門分野	授業科目名	血液検査学		単位数	1単位
対象学年	3年生	開講時期	前期・後期・ 通年		講義形態	講義 実習
担当教員名	今村 文章	実務経験	有 ・無	実務経験内容	三菱鉱業端島鉱病院検査部に5年、健康保険諫早総合病院に34年(計39年臨床検査技師として勤務)。その間、日臨技血液検査研究班班長などを歴任、平成15年には認定血液検査技師となる。	
授業の目的・目標				成績評価の方法		
前期については臨地実習に対応できる医療現場の実情を講義。後期については国家試験合格を目指す為の講義を行う。				出欠状況、授業態度は勿論であるが、質問に対する回答能力も評価したい。最終的には単位認定試験、卒認試験での評価とする。		
授業の概要・授業方針				テキスト・参考資料等		
前期は臨地実習に行くに当たり、身に付けておきたいマナーや最低限求められる質問に対応できることを目的とする。後期は国家試験に向けて血液学の基礎から疾患をこぎし、後半は国試過去問を中心に解説する。				教科書(医歯薬出版社)の血液検査学を中心に、国家試験問題解説集などを使用。		
授業計画					講師	
【前期】						
第 1講 臨地実習の注意点と学内実習との違い ルーチン検査を中心に					今村 文章	
第 2講 臨地実習施設における検査の現状、オーダーリング・自動分析機・特殊検査等について					今村 文章	
第 3講 血液検査(CBC・形態・凝固・線溶)の基礎と注意点					今村 文章	
【後期】						
第 1講 血液の基礎・採血と抗凝固剤……成分、性状、機能、産生と崩壊					今村 文章	
第 2講 赤血球・白血球・血小板の産生と崩壊					今村 文章	
第 3講 赤血球・白血球・血小板の増減と疾患(1)					今村 文章	
第 4講 赤血球・白血球・血小板の増減と疾患(2)					今村 文章	
第 5講 止血機構……血管と止血、血小板の機能、血小板に関わる疾患					今村 文章	
第 6講 凝固の機序と凝固抑制機構、第1相、第2相、第3相、内因系、外因系、共通系					今村 文章	
第 7講 凝固の検査(内因系、外因系、Fib、複合因子)					今村 文章	
第 8講 線溶と線溶抑制の機序、線溶因子の産生と構造、機能、線溶抑制機構					今村 文章	
第 9講 線溶因子及び抑制因子の検査、分子マーカー					今村 文章	
第10講 出血性素因……検査と疾患、血栓症・抗血栓療法					今村 文章	
第11講 形態検査……普通染色、特殊染色、MG染色、PO染色、Est染色ほか					今村 文章	
第12講 末梢血、骨髓の観察……形態と疾患(形態異常)					今村 文章	
第13講 白血病……急性白血病(FAB分類・WHO分類)慢性白血病と特殊白血病					今村 文章	
第14講 国試過去問解説					今村 文章	
第15講 国試過去問解説					今村 文章	
第16講 国試過去問解説					今村 文章	
第17講 国試過去問解説					今村 文章	
第18講 国試過去問解説					今村 文章	
第19講 予備					今村 文章	